

## メ ッ セ ー ジ

2017（平成29）年7月22日

カジノ（賭博場）誘致に反対する苫小牧市民の会 御中

全国カジノ賭博場設置反対連絡協議会

代表幹事 新 里 宏 二

「カジノはいらない」苫小牧集会のご開催、おめでとうございます。

苫小牧に「カジノはいらない」、そして、日本のどこにも「カジノはいらない」ということで、地域から生の声をあげられ、活動されているみなさまに、心から敬意を表します。

昨年12月、「カジノ賭博解禁推進法」が成立してしまいました。そして、今年、政府において、カジノ賭博規制の具体的な内容が検討されています。安倍総理は、世論の反対の声に配慮してか、「世界最高水準のカジノ規制を」と述べました。しかし、一方で、カジノ賭博は利益をあげなければなりません。案の定、安倍総理のこの発言の翌日には、IR推進会議の座長が「事業が成り立たないなら意味がない」と発言しました。つまるところ、カジノ賭博事業者の利益のために、カジノ賭博の弊害には目をつぶるということになるのでしょう。

カジノ賭博は、人や社会を破壊します。苫小牧にカジノ賭博場を設置させてはなりません。日本のどこにも、カジノ賭博場を設置させてはなりません。道半ばですが、あらゆる世論調査では、カジノ賭博解禁反対の声が圧倒的です。私たちは、そうした声に依拠して、今後、カジノ賭博解禁推進法の廃止、カジノ賭博実施法の制定阻止、自治体等によるカジノ賭博場誘致の阻止のために、頑張ってまいりたいと思います。

集会のご盛会を祈念し、また、みなさまの運動に対し連帯の気持ちを表しまして、メッセージとさせていただきます。

以上